

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

---

# 東京都感染症週報

2007年第29週  
(7月16日～7月22日)

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>* 2007年7月25日現在の情報により作成しています。<br/>最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。<br/><a href="http://survey.tokyo-eiken.go.jp/">http://survey.tokyo-eiken.go.jp/</a></li><li>* 今週は感染症豆知識「手足口病」も掲載しています。</li></ul> |
|--|

2007年7月26日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会  
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2007年29週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		26週	27週	28週	29週	年累計	29週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ベスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	69	53	73	50	1087	204	5834
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三類	コレラ					2		9
	細菌性赤痢	1	1	7	1	46	11	277
	腸管出血性大腸菌感染症	10	20	33	13	293	118	1538
	腸チフス					4		18
	パラチフス					3		8
四類	E型肝炎			1		2		31
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					14		94
	エキノкокクス症			1		3		9
	黄熱							
	オウム病					1		19
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							3
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2	1	92
	デング熱	1	1		1	7	2	37
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ #							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						2	20
	日本脳炎							1
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							2
	マラリア	1	1			13	1	26
	野兔病							
ライム病							2	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	2	2	2	22	18	295	
レプトスピラ症					2		3	
ロッキー山紅斑熱								

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		26週	27週	28週	29週	年累計	29週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	7	4	5	96	6	429
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		2	3	2	23	3	124
	急性脳炎 **			1		8	1	130
	クリプトスポリジウム症							4
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	8	2	89
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					3		57
	後天性免疫不全症候群	8	11	22	5	278	14	778
	ジアルジア症	1	2			10		27
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		11
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	4	4	1	73	9	354
	破傷風	1				1	1	50
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	9	2	40	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2007/7/25集計								

\* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*\* ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

# 2007年14週集計分より「高病原性鳥インフルエンザ」から「鳥インフルエンザ」に変更

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

##### 結核 50件

肺結核35件、その他15件で、推定感染地は国内47件、国外1件(フィリピン)、不明2件であった。年齢群は、10歳未満2件(うち1歳未満1件)、20歳代4件、30歳代5件、40歳代4件、50歳代9件、60歳代8件、70歳代15件、80歳代3件であった。

#### 〈三類感染症〉

##### 細菌性赤痢 1件

ソルネ菌が検出されており、推定感染地はフィリピンであった。

##### 腸管出血性大腸菌感染症 13件

患者6件、無症状病原体保有者7件であり、血清型・毒素型は、O157 VT1・VT2 6件、O157 VT2 2件、O157毒素型不明 1件、O26 VT1 1件、血清型不明3件(VT1・VT2 2件、VT1 1件)であった。

#### 〈四類感染症〉

##### デング熱 1件

デングウイルス2型が検出された。推定感染地はスリランカであった。

##### レジオネラ症 2件

いずれも肺炎型で、感染経路は不明であった。

#### 〈五類感染症〉

##### アメーバ赤痢 5件

腸管アメーバ症4件、腸管外アメーバ症1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触4件(同性間3件、両性間1件)、不明1件であった。

##### ウイルス性肝炎 2件

いずれもB型で、推定感染経路は性的接触(同性間1件、異性間1件)であった。

##### クロイツフェルト・ヤコブ病 1件

古典型であった。

##### 後天性免疫不全症候群 5件

すべて無症候キャリアであった。推定感染地は国内4件、国内・オーストラリア1件、推定感染経路は同性間性的接触3件、輸血・異性間性的接触1件、不明1件であった。

##### 梅毒 1件

早期顕症梅毒Ⅱ期で、推定感染経路は異性間性的接触であった。

##### バンコマイシン耐性腸球菌感染症1件

Van Cで、血液から検出された。

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数 2007年29週

疾病名	2007年				4週合計	年累計
	26週	27週	28週	29週		
RSウイルス感染症	5	7	2	3	17	526
インフルエンザ	3	6	3	4	16	43,781
咽頭結膜熱	108	142	116	75	441	1,906
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	288	269	235	210	1,002	7,768
感染性胃腸炎	714	674	691	551	2,630	23,041
水痘	213	158	120	104	595	6,286
手足口病	107	190	276	364	937	1,444
伝染性紅斑	116	77	66	70	329	2,243
突発性発しん	133	112	106	95	446	2,530
百日咳	3	1	0	0	4	31
風しん	0	0	0	0	0	25
ヘルパンギーナ	212	446	785	894	2,337	2,808
麻しん(成人麻しんを除く)	12	5	11	5	33	275
流行性耳下腺炎	72	61	56	61	250	1,222
不明発しん症	32	17	17	25	91	377
MCLS	0	1	7	1	9	68
急性出血性結膜炎	5	2	0	0	7	32
流行性角結膜炎	17	14	21	12	64	502
細菌性髄膜炎	4	1	0	0	5	18
無菌性髄膜炎	2	0	1	3	6	19
マイコプラズマ肺炎	1	4	7	2	14	96
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0	0	2	3	7
成人麻しん	10	8	4	3	25	234
2007/7/25集計						

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・手足口病の定点当たり報告数は引き続き増加しており、過去5年平均に近い推移を示している。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、今週も引き続き増加しており、過去5年平均を上回る値となってきた。
- ・麻しんの定点当たり報告数は、20週をピークに全体として減少傾向にあり、前週やや増加したが、今週は減少している。
- ・成人麻しんの定点当たり報告数は、8週連続して減少しており、過去5年平均レベルになってきている。

(定点医療機関からのコメント)

世田谷区保健所管内定点医療機関

- ・麻しんは、27歳の患者1名を診断しました。

中野区保健所管内定点医療機関

- ・咽頭結膜熱はアデノウイルス陽性でした。
- その他、結膜炎を伴わないアデノウイルス陽性の患児が2名いました。

多摩小平保健所管内定点医療機関

- ・夏の代表的な感染症とされるヘルパンギーナと手足口病が増えました。

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2007年29週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月					9	2	3		5
～11か月			3	1	34	6	23		33
1歳	1	1	15	8	69	16	99	3	41
2歳			11	16	56	19	61	6	8
3歳	1		10	31	40	22	54	13	1
4歳			7	20	54	13	49	15	2
5歳	1		7	33	53	10	36	10	1
6歳			5	21	37	3	13	5	2
7歳			4	16	32	1	11	6	
8歳			2	15	23	4	9	2	1
9歳			2	9	14	3	3	3	1
10～14歳			7	20	43	2	1	7	
15～19歳				2	13				
20～29歳		2	2	18	74	3	2		
30～39歳									
40～49歳		1							
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	3	4	75	210	551	104	364	70	95
先週比	1	1	-41	-25	-140	-16	88	4	-11

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月			6						
～11か月			67					6	
1歳			181	1	2			4	1
2歳			124		5			3	
3歳			144		3			2	
4歳			122		13			3	
5歳			89		7		1	2	
6歳			58		8			1	
7歳			34	1	10				
8歳			23		2			1	
9歳			18		5				
10～14歳			21	3	6			2	
15～19歳			1					1	
20～29歳			6				3		
30～39歳							6		
40～49歳							2		
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	-	894	5	61	-	12	25	1
先週比	0	0	109	-6	5	0	-9	8	-6

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2007年29週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田						1		1		
中央区					4	3	7		1	
みなと			5	9	27	1	19	3	5	
新宿区			1	9	16	5	6	1	2	
文京			2		2		4			
台東			1	5	19		8	2	1	
墨田区					3		6	2	1	
江東区				5	36	5	18	3	3	
品川区			4	3	26	6	11		8	
目黒区				2	2	4	4			
大田区			14	15	39	4	20	4	7	
世田谷			1	10	16	14	41	11	4	
渋谷区				2	12	1	4			
中野区	2		2	9	26	1	7	1	1	
杉並			18	10	45	3	3	3	1	
池袋					7		3			
北区			5	7	10	3	5	1	4	
荒川区			4		6		3			
板橋区			2	2	14	1	6	2		
練馬区			2	12	11	1	10	1	4	
足立				2	19	2	9	1		
葛飾区			1	5	8	1	24	3	5	
江戸川			5	20	28	5	14	1	6	
西多摩				6	19	5	6	8	1	
八王子			1	36	42	14	29	5	11	
南多摩			1	3	17	2	12	1	5	
町田	1	4	1	13	21	3	18	11	5	
多摩立川				2	13	3	1	1		
多摩府中			2	8	26	12	41	2	15	
多摩小平			3	15	31	4	25	2	5	
島しょ					6					

東京都合計	3	4	75	210	551	104	364	70	95	-
定点当り報告数	0.02	0.01	0.51	1.42	3.72	0.70	2.46	0.47	0.64	-

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									2
中央区		8	1	2		2			28
みなと		29							98
新宿区		19		1					60
文京		10				3			21
台東		56	1						93
墨田区		18					2		32
江東区		29		2					101
品川区		24		2					84
目黒区		6		3					21
大田区		60	1	6		2	1		173
世田谷		47		2			1		147
渋谷区		14		1					34
中野区		30		1					80
杉並		6		2		1	2		94
池袋		4		12					26
北区		40		1					76
荒川区		37					2		52
板橋区		8				2	1		38
練馬区		21					1		63
足立		6	1				2		42
葛飾区		28		7					82
江戸川		126		6		1			212
西多摩		16							61
八王子		39		3			11	1	192
南多摩		17		1			1		60
町田		96	1	4					178
多摩立川		14							34
多摩府中		18		2					126
多摩小平		68		3		1	1		158
島しょ									6

東京都合計	-	894	5	61	-	12	25	1	2,474
定点当り報告数	-	6.04	0.03	0.41	-	0.31	0.17	0.01	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年29週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田						0.25		0.25		
中央区					1.33	1.00	2.33		0.33	
みなと			0.83	1.50	4.50	0.17	3.17	0.50	0.83	
新宿区			0.17	1.50	2.67	0.83	1.00	0.17	0.33	
文京			0.67		0.67		1.33			
台東			0.33	1.67	6.33		2.67	0.67	0.33	
墨田区					1.00		2.00	0.67	0.33	
江東区				1.25	9.00	1.25	4.50	0.75	0.75	
品川区			0.67	0.50	4.33	1.00	1.83		1.33	
目黒区				0.67	0.67	1.33	1.33			
大田区			1.56	1.67	4.33	0.44	2.22	0.44	0.78	
世田谷			0.13	1.25	2.00	1.75	5.13	1.38	0.50	
渋谷区				0.50	3.00	0.25	1.00			
中野区	0.33		0.33	1.50	4.33	0.17	1.17	0.17	0.17	
杉並			3.00	1.67	7.50	0.50	0.50	0.50	0.17	
池袋					1.75		0.75			
北区			1.25	1.75	2.50	0.75	1.25	0.25	1.00	
荒川区			2.00		3.00		1.50			
板橋区			0.33	0.33	2.33	0.17	1.00	0.33		
練馬区			0.40	2.40	2.20	0.20	2.00	0.20	0.80	
足立				0.40	3.80	0.40	1.80	0.20		
葛飾区			0.25	1.25	2.00	0.25	6.00	0.75	1.25	
江戸川			1.00	4.00	5.60	1.00	2.80	0.20	1.20	
西多摩				1.20	3.80	1.00	1.20	1.60	0.20	
八王子			0.25	9.00	10.50	3.50	7.25	1.25	2.75	
南多摩			0.25	0.75	4.25	0.50	3.00	0.25	1.25	
町田	0.25	0.44	0.25	3.25	5.25	0.75	4.50	2.75	1.25	
多摩立川				0.40	2.60	0.60	0.20	0.20		
多摩府中			0.20	0.80	2.60	1.20	4.10	0.20	1.50	
多摩小平			0.50	2.50	5.17	0.67	4.17	0.33	0.83	
島しょ					6.00					

東京都合計	3	4	75	210	551	104	364	70	95	-
定点当り報告数	0.02	0.01	0.51	1.42	3.72	0.70	2.46	0.47	0.64	-

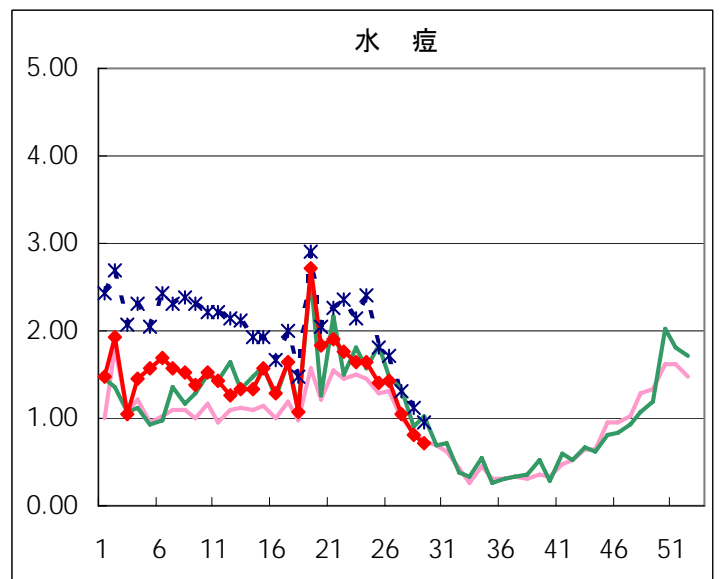
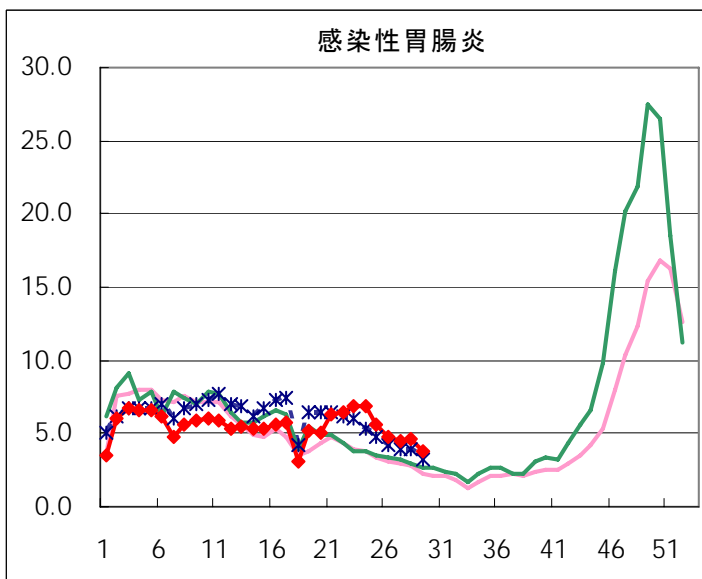
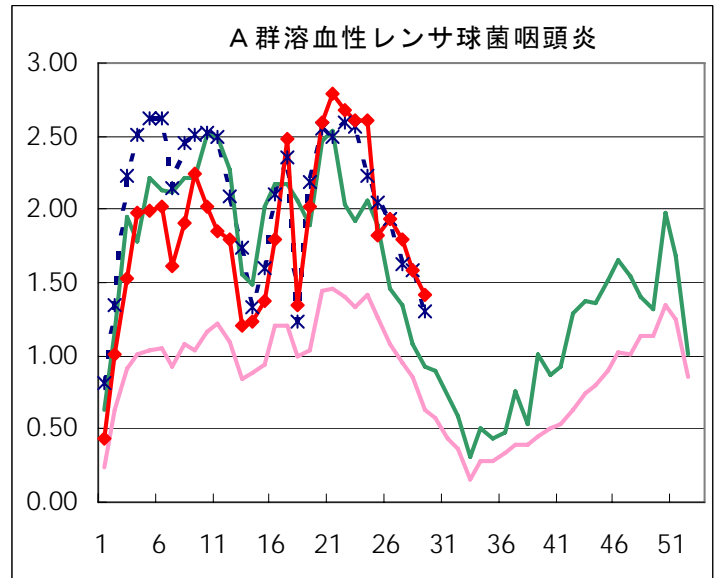
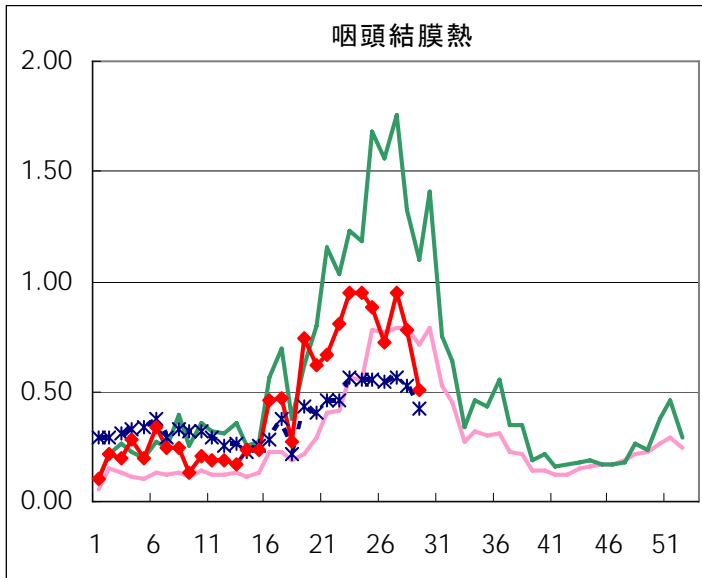
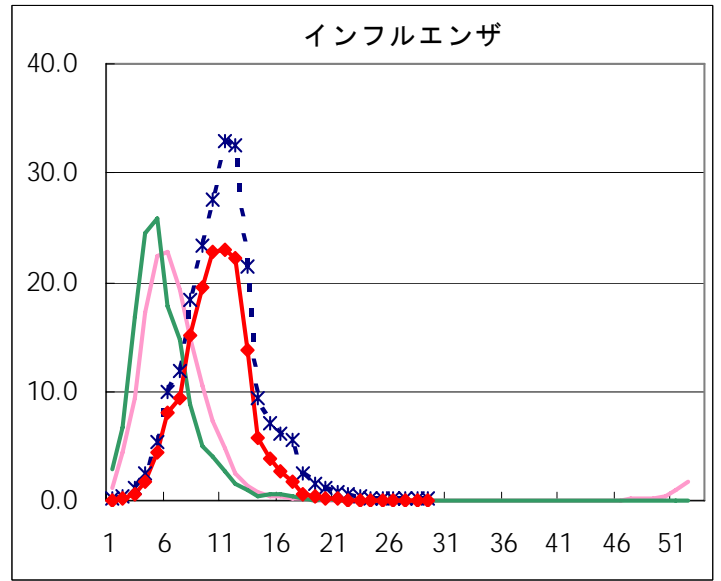
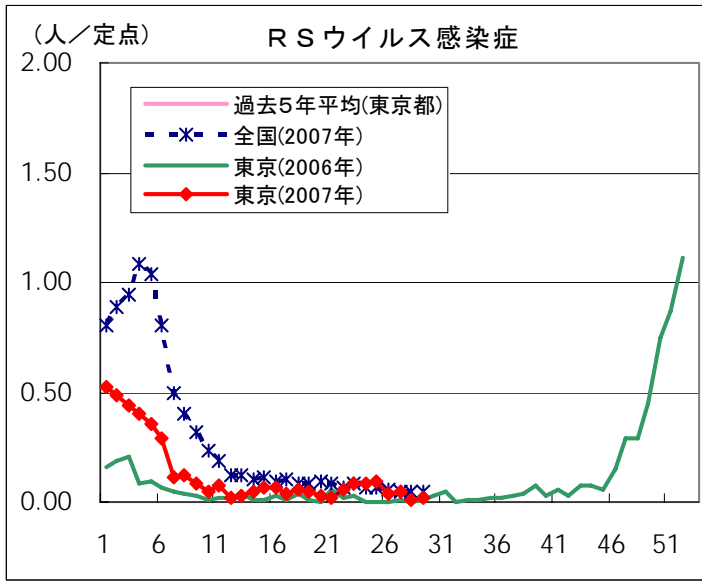


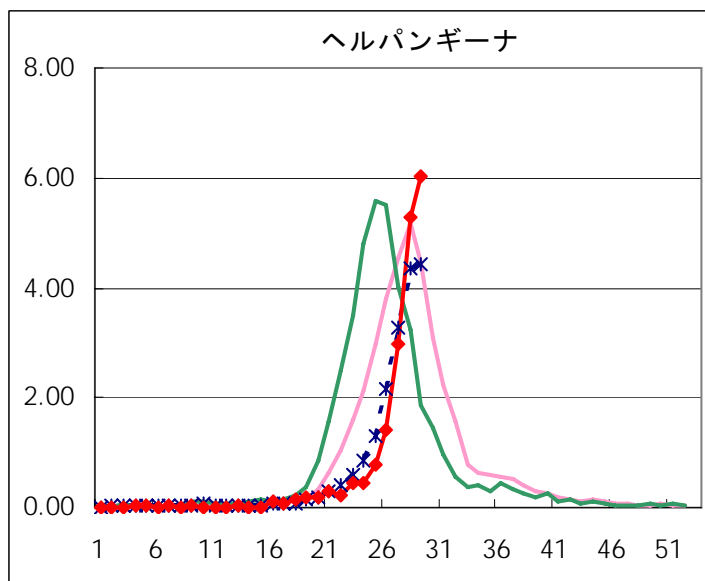
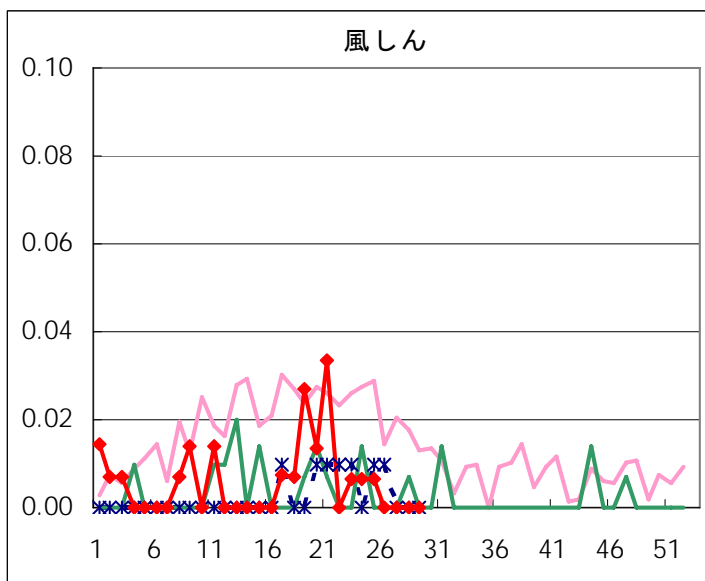
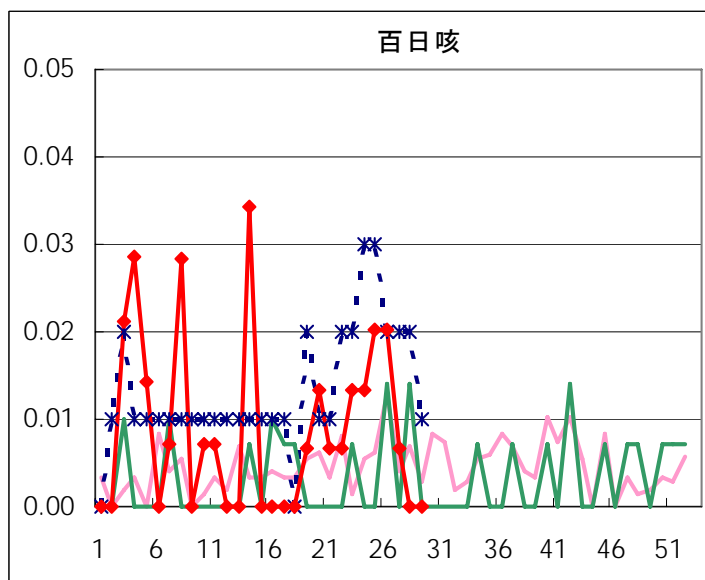
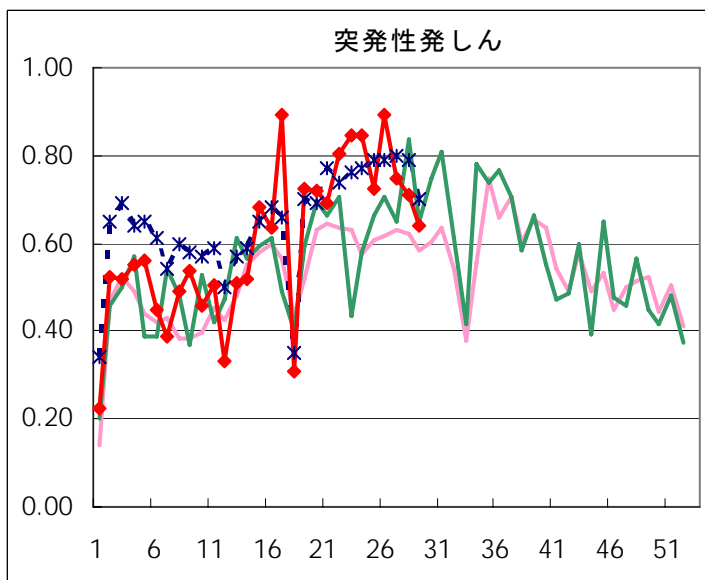
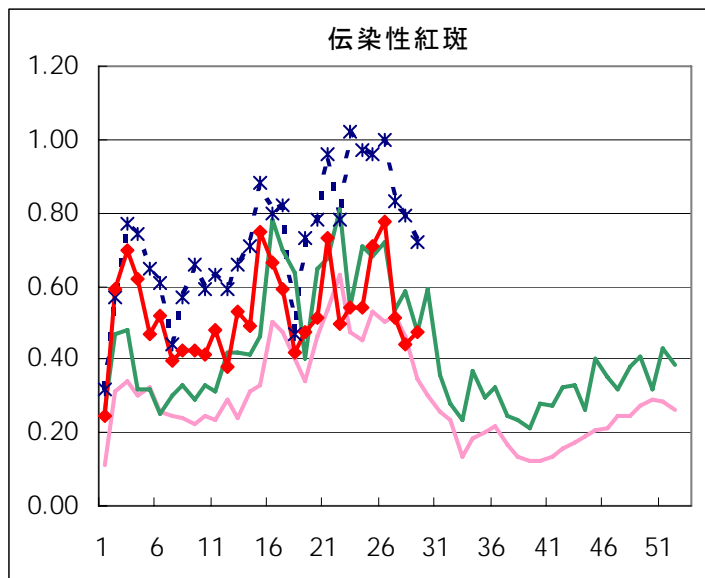
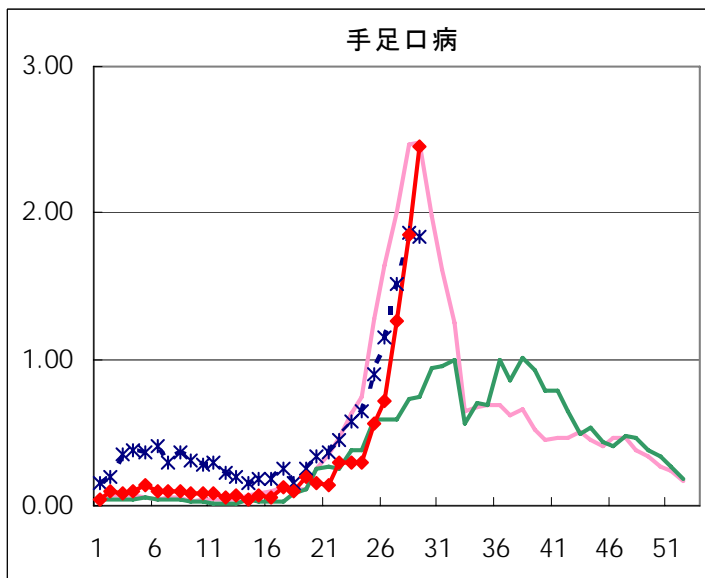
	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区		2.67	0.33	0.67		2.00		
みなと		4.83						
新宿区		3.17		0.17				
文京		3.33				3.00		
台東		18.67	0.33					
墨田区		6.00					0.67	
江東区		7.25		0.50				
品川区		4.00		0.33				
目黒区		2.00		1.00				
大田区		6.67	0.11	0.67		1.00	0.11	
世田谷		5.88		0.25			0.13	
渋谷区		3.50		0.25				
中野区		5.00		0.17				
杉並		1.00		0.33		1.00	0.33	
池袋		1.00		3.00				
北区		10.00		0.25				
荒川区		18.50					1.00	
板橋区		1.33				1.00	0.17	
練馬区		4.20					0.20	
足立		1.20	0.20				0.40	
葛飾区		7.00		1.75				
江戸川		25.20		1.20		0.50		
西多摩		3.20						
八王子		9.75		0.75			2.75	0.25
南多摩		4.25		0.25			0.25	
町田		24.00	0.25	1.00				
多摩立川		2.80						
多摩府中		1.80		0.20				
多摩小平		11.33		0.50		0.50	0.17	
島しょ								

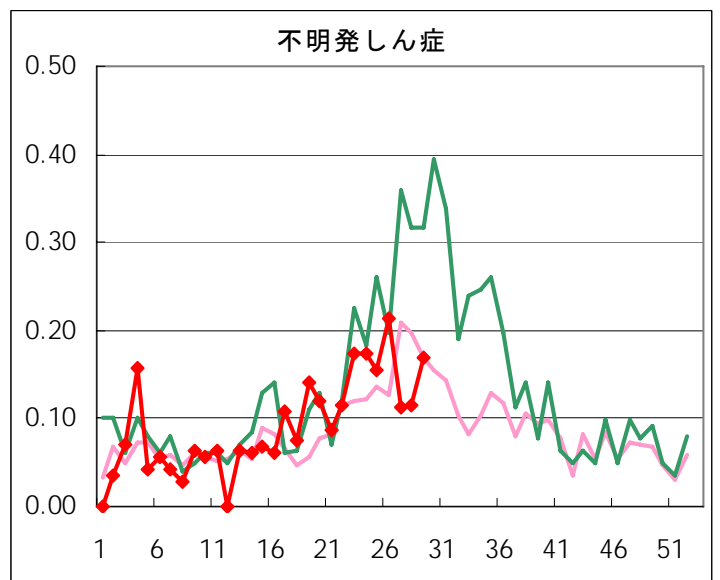
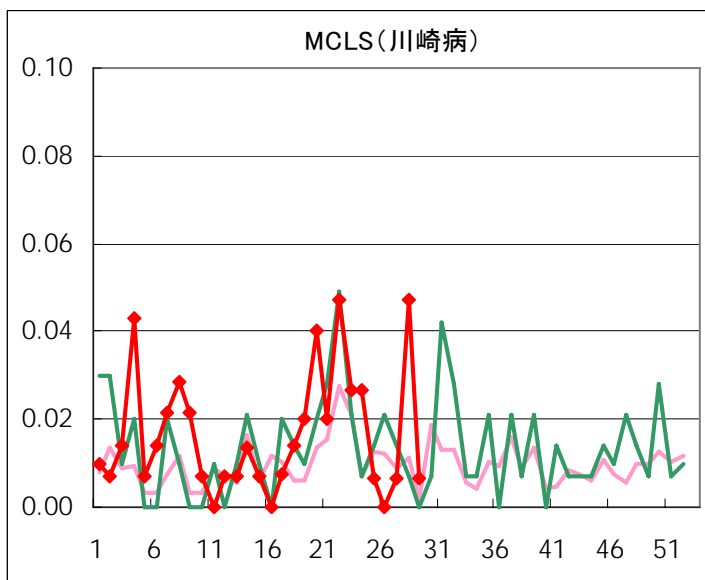
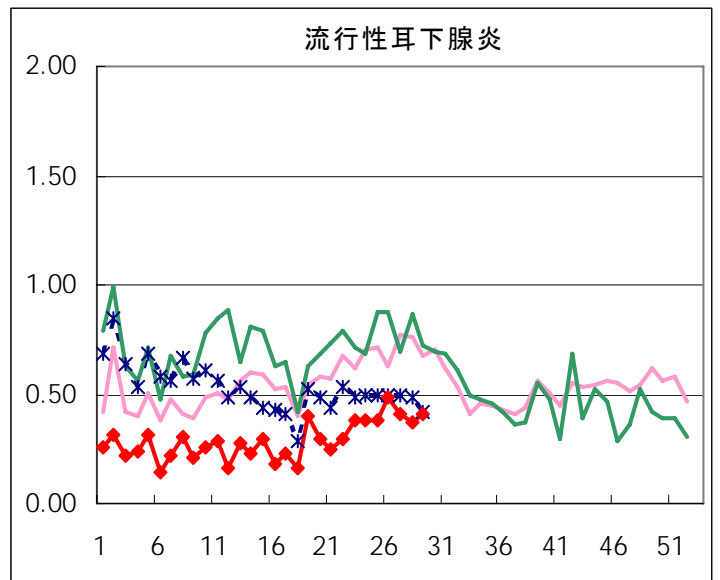
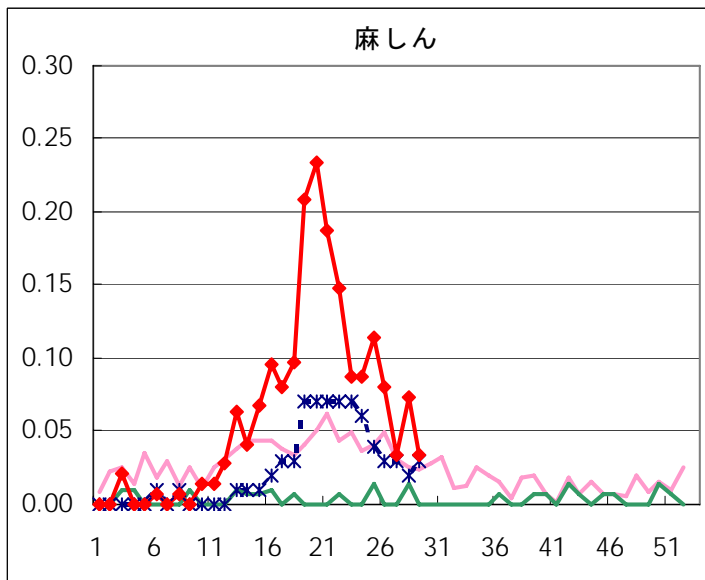
東京都合計	-	894	5	61	-	12	25	1
定点当り報告数	-	6.04	0.03	0.41	-	0.31	0.17	0.01

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2007年29週現在

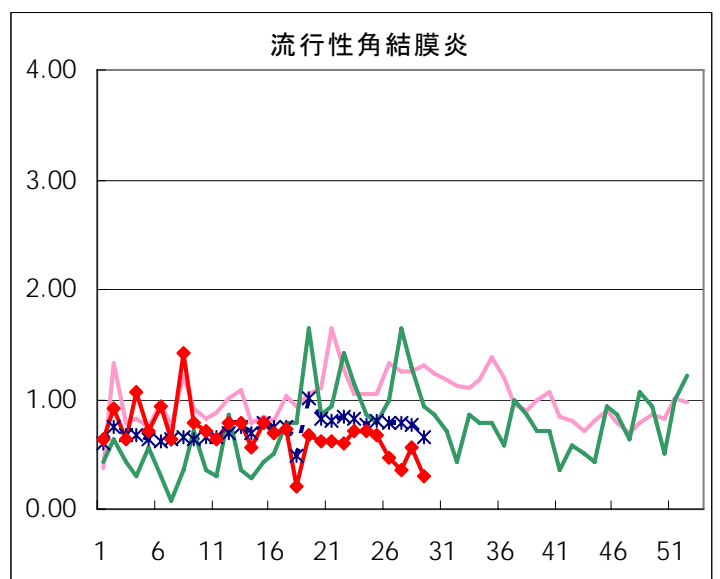
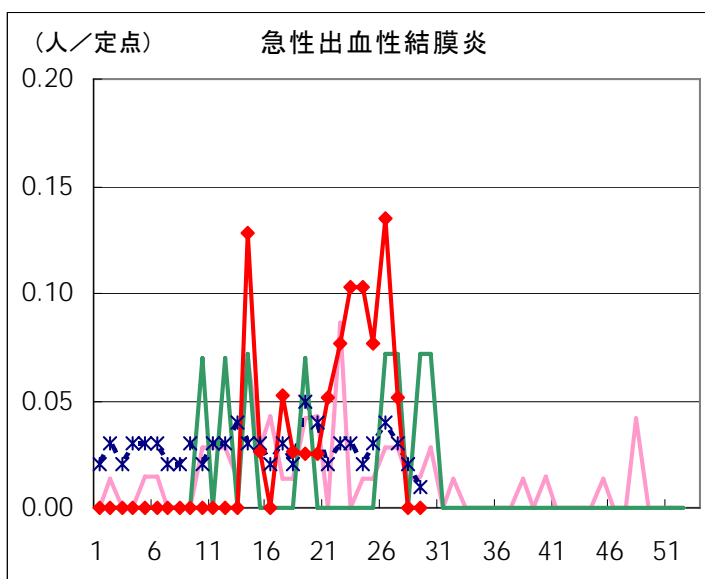
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点



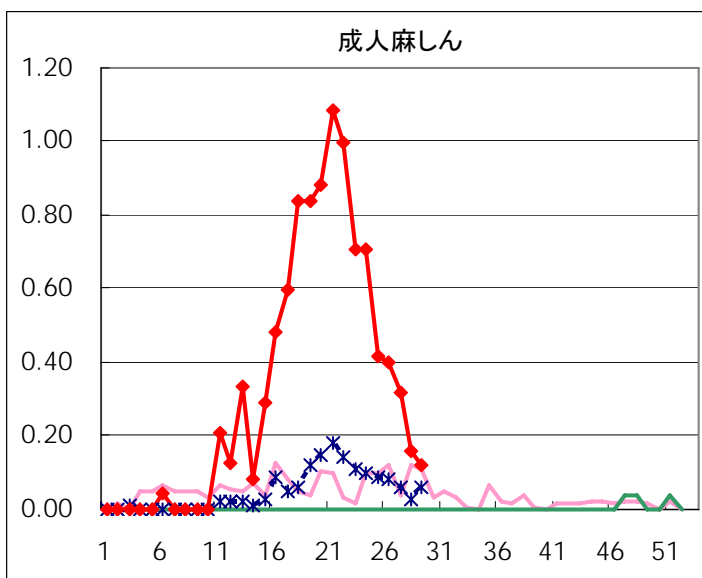
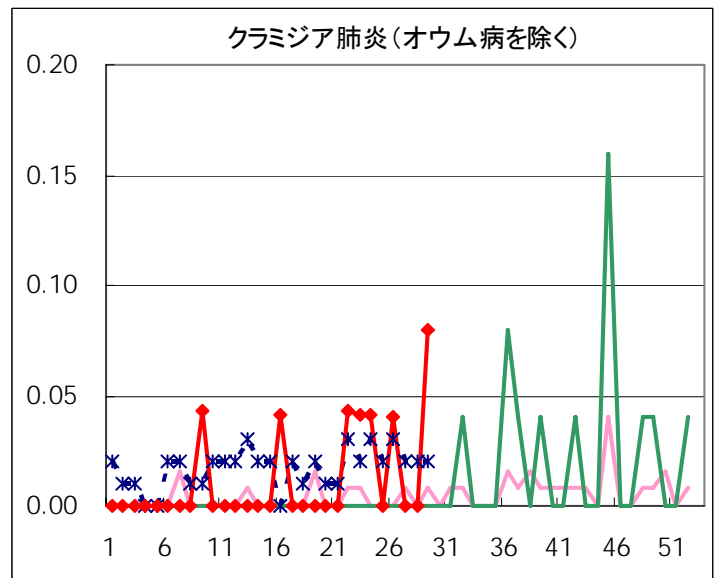
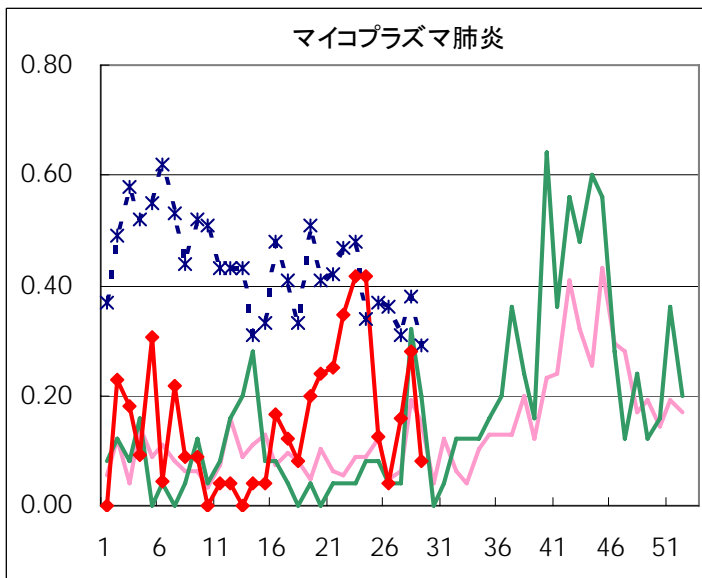
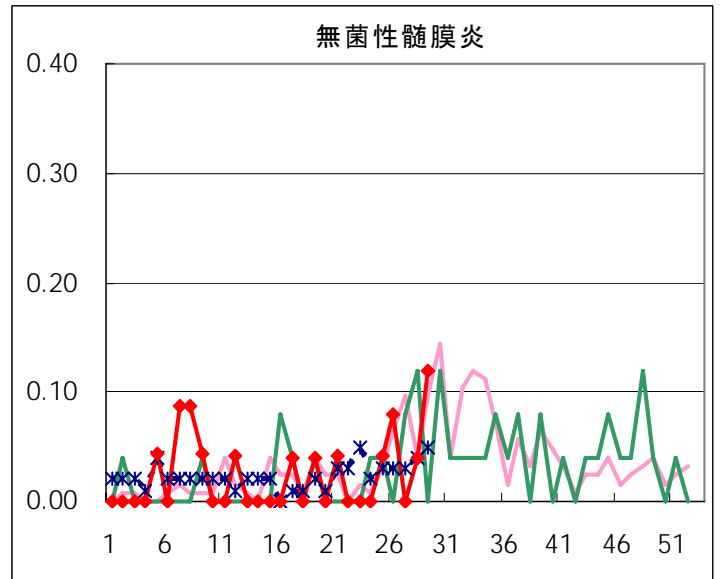
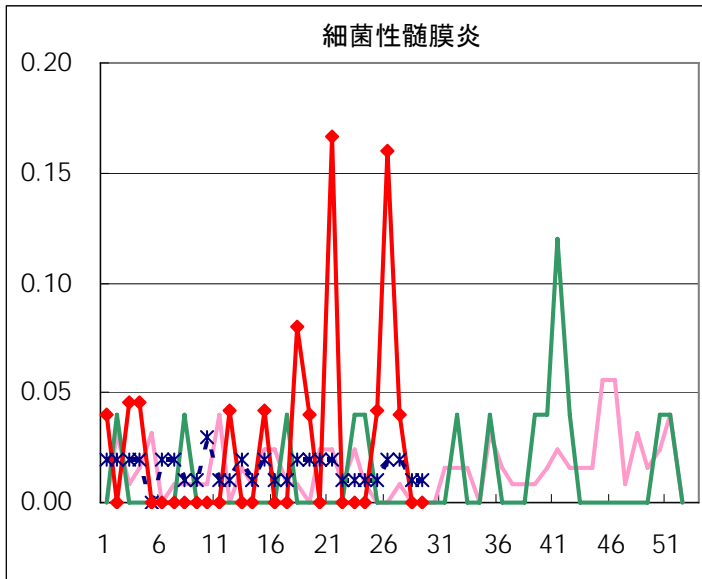




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	290	284
眼科	急性出血性結膜炎	39	39
	流行性角結膜炎		
基幹	細菌性髄膜炎	25	25
	無菌性髄膜炎		
	マイコプラズマ肺炎		
	クラミジア肺炎		
	成人麻疹		
小児科	上記を除く疾病	150	148

## 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
7/6	記載無し	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
7/6	手足口病	3	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群	
7/6	デング熱	63	血清	デングウイルス2型	
7/7	肺炎	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型	
7/7	急性扁桃炎 頸部リンパ節炎 耳下腺炎	8	咽頭拭い液	エンテロウイルス パラインフルエンザウイルス3型	
7/9	記載無し	28	咽頭拭い液	ライノウイルス	
7/9	けいれん群発 発しん 発熱	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型	
			血清	ヒトヘルペスウイルス6型,7型	
7/9	急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/9	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
7/9	ヘルパンギーナ ウイルス性発しん	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
7/10	扁桃炎	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/10	クループ症候群	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型	
7/12	急性気管支炎	6	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型	
7/12	急性気管支炎	4	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型	
7/12	急性扁桃炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/12	急性扁桃炎 頸部リンパ節炎	6	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型 ムンプスウイルス	
7/13	急性扁桃炎	7	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/13	突発性発しん	11M	咽頭拭い液	アデノウイルス	
記載無し	腸重積	9M	糞便	エンテロウイルス	
記載無し	手足口病	34	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
記載無し	肺炎 筋炎	3	鼻汁	ヒトメタニューモウイルス	

週別検査状況 2007年21週～28週

検出病原体・抗体		2007年								合計
		21	22	23	24	25	26	27	28	
ウイルス	アデノ	4		6	3		3	1	3	20
	ライノ	2	4	1	1	2		2	1	13
	ポリオ									
	コクサッキーA群							3	1	4
	コクサッキーB群									
	エコー									
	エンテロ71								3	3
	その他のエンテロ	4	2	1	9	4	2	4	4	30
	単純ヘルペス									
	水痘・帯状疱疹									
	ヘルペス6/7	4	4	6	3	2	6	3	3	31
	EB	4	6	4	2			2		18
	サイトメガロ		1							1
	ムンプス	1							1	2
	麻疹	4	5	7	2	3	3	1		25
	風しん									
	パルボB19			1		1				2
	RS									
	ノロ				2	2				4
	ロタ	2			1					3
インフルエンザAH1			1						1	
インフルエンザAH3			1						1	
インフルエンザB										
デング				1	1			1	3	
その他のウイルス		5	9	9	11	6	9	8	57	
細菌	カンピロバクター						2			2
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌									
	溶血性レンサ球菌		5					1		6
	その他の細菌									
その他の病原体			2							2

臨床診断名別検査結果 2007年21週～28週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	30	53	37	44	36			3	3	5	3	27	3	3	20	1	99	
アデノ	1	5	1					2		1		4			2		4	20
ライノ		4	2	1								1	1	1			3	13
ポリオ																		
コクサッキーA群										3							1	4
コクサッキーB群																		
エコー																		
エンテロ71		2							1									3
その他のエンテロ		8	4	5	4					1	1	2		1		1	3	30
単純ヘルペス																		
水痘・帯状疱疹																		
ヘルペス6/7		1	2		2				2	2		7			1		14	31
EB		2	1									5	2		1		7	18
サイトメガロ																	1	1
ムンプス		1			1													2
麻しん			1		1							3		1	16		3	25
風しん																		
パルボB19											2							2
RS																		
ノロ				4														4
ロタ				3														3
インフルエンザAH1	1																	1
インフルエンザAH3	1																	1
インフルエンザB																		
デング																	3	3
その他のウイルス		24	26	2								1					4	57
カンピロバクター				2														2
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌																		
溶血性レンサ球菌		6																6
その他の細菌																		
その他の病原体		1	1															2
備考																		



## <感染症豆知識>

### 手足口病

口腔粘膜および四肢末端に現れる水疱性の発疹が主症状で、夏季に流行する。地域的に秋冬まで流行が長引く年もある。

コクサッキーウイルスA16型(CA16)とエンテロウイルス71型(EV71)が主な病原である。

従来、髄膜炎など神経合併症の予後は良いとされていたが、1997年マレーシア、1998年台湾でEV71による手足口病流行中に死亡例や重症例が多発した。日本でも、脳炎、心筋炎などの重症例からのEV71分離報告が散見される。

EV71は3年周期で流行しており、2000、03、06年の手足口病の主な病原はEV71で、2001、02、04、05年はCA16が主であった。

本年1～2月には昨年が続いてEV71が少数検出されていたが、3～5月にはCA16が散発的に報告されている。感染症発生動向調査の患者報告数は、6月中旬第24週では小児科定点当たり0.65と過去10年で下から2番目の低いレベルで増加しており、熊本、佐賀、福島、和歌山、宮崎の5県が定点当たり2.0を超えている。患者の年齢は5～9歳、10～14歳が多い。

感染経路は飛沫感染が主であるが、症状消失後も糞便中には2～4週間以上と長期にウイルスが排出されるため、有症状者の登校登園停止だけでは流行阻止は期待できない。また、大部分は軽症で予後は良好であるため、登校登園は患者本人の状態によって判断する。感染拡大予防のためには、学校・幼稚園・保育所などの集団および家庭においても用便後や食事の前の手洗い、うがいなどの基本的な衛生習慣の徹底が必要である。

(文責 国立感染症研究所感染症情報センター 山下和予)